

令和 4年 6月 23日

茨城県知事

殿

主たる事務所の所在地

茨城県古河市上片田813番地

医療法人 つるみ

理事長 鶴見有史

実印

電話 0280 ( 77 ) 2222

✓



## 決 算 届

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの決算を終了したので、  
医療法第52条第1項の規定により届出します。

## [添付書類]

1. 事業報告書
2. 財産目録
3. 貸借対照表
4. 損益計算書
5. 関係事業者との取引に関する報告書
6. 監事の監査報告書

A. 社会医療法人の場合、次の書類を添付すること。

6. 法第42条の2第1項第1号から第6号の要件に該当する旨を説明する書類

B. 社会医療法人債を発行した法人の場合は、次の書類を添付すること。

(ただし、10及び11は社会医療法人に限る。)

7. 純資産変動計算書
8. キャッシュ・フロー計算書
9. 附属明細書
10. 公認会計士又は監査法人の監査報告書
11. 法第42条の2第1項第1号から第6号の要件に該当する旨を説明する書類

- (注) 1. 貸借対照表及び損益計算書は、病院、診療所又は介護老人保健施設別のものを提出する必要はなく、法人全体のものを提出すれば足りる。
2. 提出は毎会計年度終了後3月以内である。
3. 貸借対照表の純資産の額に変更があった場合は、登記事項(組合等登記令(昭和39年政令第29号)の変更登記が必要である。

事業報告書  
(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

茨城県古河市上片田813番地  
医療法人 つるみ  
理事長 靄見 有史 実印

1 医療法人の概要

- (1) 名称 医療法人つるみ
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 ( ☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり )
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
- ☒ その他
- ③ ☒ 基金制度採用 ☐ 基金制度不採用

- (2) 事務所の所在地 茨城県古河市上片田813番地
- (3) 設立認可年月日 平成27年2月23日
- (4) 設立登記年月日 平成27年3月19日
- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	靄見 有史	つるみ脳神経病院 管理者
理 事	靄見 禮子	
理 事	靄見 祐子	
監 事	飯田 咲子	

2 事業の概要

- (1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設  
(医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。)の業務)

種 類	施設の名称	開設場所	許可病床数
病院	つるみ脳神経病院	茨城県古河市上片田813番地	一般病床 29床

- (2) 附帯業務 (医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務)
- (3) 収益業務 (社会医療法人が行うことができる業務)
- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項  
令和3年10月6日 社員総会 法人名称変更と定款一部変更  
令和4年3月28日 社員総会 経営状況及び新型コロナ関連対応状況
- (5) 当該会計年度内に発行した医療機関債
- (6) 当該会計年度内に購入した医療機関債
- (7) 当該会計年度内に開設 (許可を含む) した主要な施設
- (8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

様式2

法人名 医療法人 つるみ  
所在地 茨城県古河市上片田813番地

※医療法人整理番号

財 産 目 録  
(令和4年3月31日現在)

1. 資 産 額 822,914 千円  
2. 負 債 額 334,551 千円  
3. 純 資 産 額 488,363 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	594,923
B 固 定 資 産	227,991
C 資 産 合 計 (A+B)	822,914
D 負 債 合 計	334,551
E 純 資 産 (C-D)	488,363

(注) 財産目録の価格は貸借対照表の価格と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□法人所有 ■賃借 □部分的に法人所有(部分的に賃借))

建 物 (■法人所有 □賃借 □部分的に法人所有(部分的に賃借))

茨城県古河市上片田813番地  
医療法人 つるみ  
理事長 鶴見 有史 実印

法人名医療法人 つるみ

※医療法人整理番号

所在地茨城県古河市上片田813番地

貸借対照表  
(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	594,923	I 流 動 負 債	334,551
現金及び預金	161,651	買掛金	19,103
医業未収金	222,417	短期借入金	80,000
棚卸資産	17,316	未払金	40,170
前払費用	830	未払費用	61,778
その他の流動資産	192,709	未払法人税等	126,361
II 固 定 資 産	227,991	未払消費税等	3,405
1 有 形 固 定 資 産	226,491	預り金	3,734
建物	193,079	II 固 定 負 債	0
構築物	2,954	負 債 合 計	334,551
医療用器械備品	12,289	純 資 産 の 部	
その他の器械備品	4,724	科 目	金 額
車両及び船舶	13,445	I 基金	80,000
2 無 形 固 定 資 産	400	II 積立金	408,363
ソフトウェア	74	繰越利益積立金	408,363
その他の無形固定資産	326	III 評価・換算差額等	0
3 そ の 他 の 資 産	1,100	純 資 産 合 計	488,363
その他の固定資産	1,100	負債・純資産合計	822,914
資 産 合 計	822,914		

茨城県古河市上片田813番地

医療法人 つるみ  
理事長 靄見 有史

実印

法人名 医療法人 つるみ  
所在地 茨城県古河市上片田813番地

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書  
( 自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日 )

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 医業収益		1,219,779
2 医業費用		
(1)医業費	1,174,252	
(2)本部費	0	
本来業務医業損失		45,526
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		0
2 事業費用		0
附帯業務事業利益		0
C 収益業務事業損益		
1.事業収益		0
2.事業費用		0
収益業務事業利益		0
医業利益		45,526
II 医業外収益		
受取利息	0	
その他の医業外収益	593,058	593,058
III 医業外費用		
支払利息	702	
その他の医業外費用	1,000,898	101,600
経常利益		536,984
IV 特別利益		
固定資産売却益	1,300	
その他の特別利益	0	1,300
V 特別損失		
固定資産売却損	0	
その他の特別損失		
税引前当期純利益		538,284
法人税・住民税及び事業税	126,360	
法人税等調整額	0	
当期純利益		411,924

茨城県古河市上片田813番地

医療法人 つるみ  
理事長 鶴見 有史 実印

法人名 医療法人 つるみ  
所在地 茨城県古河市上片田813番地

※医療法人整理番号

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産総額 (千円)	事業の内容	関係事業者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

茨城県古河市上片田813番地

医療法人 つるみ  
理事長 霧見有史 代表

## 監 事 監 査 報 告 書

医療法人 つるみ  
理事長 鶴見 有史 殿

私（注1）は、医療法人つるみの令和3年会計年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。  
その結果につき、以下のとおり報告いたします。

### 監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し事業報告を求めました。  
また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録・貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

### 記

### 監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和4年5月31日

医療法人つるみ

監事 飯田咲子

印

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。